

きめ細かな指導を目指して

市内の小中学校でがんばる少人数学習推進教員・健康推進教員



少人数学習(中学校)



少人数学習(小学校)

今、市内の小中学校には、42人の少人数学習推進教員と8人の健康推進教員が配置され、日々、子どもたちの教育活動にきめ細かに関わっています。

「成田市個性を生かす教育推進事業」がスタートして、今年で5年目。1学級の児童生徒数の多い学校に「一人ひとりの個性に応じたきめ細かな指導を行う」目的で配置されている少人数学習推進教員と健康推進教員は、学校現場にもすっかり馴染み、今ではなくてはならない存在となっています。

成田市のこの事業が広く知られたことで、県内だけでなく、遠く九州や東北から応募し、この成田の地で推進教員としてのスタートをきった若者もいます。

教育に対する情熱をもち、日々熱心に子どもと関わる推進教員の活躍は、学校現場での教育効果を上げるとともに、学校の活性化にもつながっています。

少人数学習推進教員は、児童生徒一人ひとりにきめ細かな指導を行つため、学級担任・教科担任と学級や学年を分割して授業を行う少人数学習や、一つの学級に二人の教員が入り授業を行うティームティーチングを行っています。

平成15年度からは少人数学習推進教員を増やしたことで、基本教科(算数・数学・英語・国語・理科)の一部で少人数指導・習熟度別指導がより推進できるようになり、個に応じた指導の一層の充実により、確かな学力の育成を図ること

指導力の向上を目指して

6月25日、遠山中学校を会場に開催した研修会では、英語と数学の授業展開の後、よりのぞましい少人数指導・ティームティーチングの指導のあり方について活発な話し合いがなされました。



ティームティーチング



部会に分かれて研修会

を目指しています。

健康推進教員は、保健室の養護教諭とともに児童生徒を心身両面から支援します。

健康推進教員は、児童生徒数が多い学校を中心に8人が配置されており、児童生徒の心身のさらなるケアに努めるとともに、「心の居場所」としての保健室の機能をより高めていくことを目指しています。

個性を生かす教育推進事業についてくわしくは学務課(☎201581)へ。

個性を生かす教育推進事業で何が変わったのでしょうか？

学校現場の声

・授業中子どもが進んで発表するようになり、一人ひとりが生き生きと授業に参加している。

・算数の好きな子どもが増えている。

・苦手な教科であきらめていた子どもも「やればできる」という意識をもつことができるようになった。

・子どもの様子を複数の教員の目で丁寧に見ることができるので、子どもの小さな変化にも気づき、きめの細かい生徒指導ができた。

・保健室に、養護教諭と健康推進教員の二人がいることで、休み時間など多くの子どもが来室してもきめ細かに対応できている。

子どもの声

・少人数で学習すると、自分に合った速さで勉強でき分かります。

・推進教員の先生は、お兄さん・お姉さんみたいで、いろいろなことが相談しやすい。